



①



②

① ソニー テープコーダー モデル202

Sony Tape recorder model 202

磁気テープを用いて音声信号を記録・再生する装置です。1935年に、ドイツのAEG社が開発した「マグネットフォン」がテープレコーダーの原形とされています。日本では、東京通信工業(現ソニー)が、1950年に「テープコーダー」の名称で発売しました。展示品は、家庭用として発売されたもので、当時の価格は38,000円でした。

[東京通信工業製 / 昭和30年代初め / 個人蔵]

② シアーズローバック シルバートーンNo.8055(ワイヤーレコーダー)

SEARS ROEBUCK Silvertone No.8055 (Wire recording machine)

ワイヤーレコーダーは、1898年にデンマークのポールセンが発明した磁気を用いた録音機です。太さ0.1mmのワイヤー(鋼鉄線)を磁化させることにより、音の信号を記録します。1920年代に真空管を使って実用化され、1940年代まで使用されました。その後、磁気テープの出現とともに姿を消しました。展示品は、シアーズローバック社による「シルバートーン」という製品で、ワイヤーレコーダーと電蓄、ラジオを一体化した現在の「ラジカセ」と同じようなものです。

[アメリカ製(SEARS ROEBUCK社) / 1950年頃 / 大阪芸術大学所蔵]

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcm.it.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.